

マルチメディア



マルチメディアを一言でいえば、音声・映像・データの3つの情報要素を統合して提供できるメディアのこと。いま話題のインターネットもそのひとつだ。

インターネットは、1993年にゴア副大統領が提唱した「情報ハイウェイ構想」のもと、「誰でもどこからでも必要な情報が入手できる」ネットワークとして整備が進んだ。現在では全世界で数千万人が利用しているといわれる。日本でも、高性能パソコンは低価格化が進むにつれ、利用者も急増。インターネットはマルチメディアの本命に浮上してきた。

デジタル衛星放送も、マルチメディアを身近なものにしてくれそうだ。すでに放送を始めた米国では爆発的な人気を呼んでいるが、その秘密は画質の良さとチャンネルの多さ。日本でも試験放送が予定されている。

32ビットの高性能ゲーム機も、マルチメディア端末として有望だ。セガ・エンタープライズのゲーム機「セガサターン」は、発売当初からインターネットへの接続を視野に入れている。また電話機につながるだけで家庭で楽しめる通信カラオケは、BGMやニュース・天気予報などの情報提供、テレビゲームの送信も行う。

一方携帯電話やPHSの登場に伴う本格的な移动通信からも目が離せない。とくにPHSは、伝送能力に優れているため、ハンディパソコンなどにつないでデータやファックスを簡単に送ることができる。

こうした情報革命は急速に進んでおり、マルチメディア社会はこれからいよいよ本番を迎える。

